

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 妙高市立斐太北小学校

学年・人数 4年生・14名

実施日 令和3年7月15日（木）

～もっと知ろう・関川のこと～

斐太北小学校4年生が関川について学びました！

● 実施概要

- 日時：令和3年7月15日（木） 3限 10:35～11:20
場所：斐太北小学校 図書室
参加者：斐太北小学校4年生 14名
内容：1. 室内講座～プレゼンテーション資料を用いた関川の学習～
①関川ってどんな川？（名前の由来や特徴について）
②関川の洪水・治水（過去の水害や河川整備・管理について）
③水害に備えて（マイ・タイムライン、ハザードマップの活用について）
④関川の利水（発電への利用、農業への利用について）
⑤関川の生き物（生息する動植物について）
⑥水のきれいさ（川をきれいする方法について）
⑦身近な関川を楽しもう（関川にある憩いの場について）
2. 質問タイム
3. マイ・タイムライン作成支援ツール「逃げキッド」の配布

● 出前講座の様子



プレゼンテーション資料を用いて講座を行いました。これは、日本の川の特徴について、スライドを見ながら説明している様子です。



途中にクイズを取り入れ、楽しく講座を進めました。これは、関川に生息する魚の種数を当てるクイズです。みなさん積極的に答えてくれました。



最後に講座内で説明したマイ・タイムライン（洪水が起きる前に考える防災行動計画）を作成するための支援ツール「逃げキッド」を配布しました。

《児童のみなさんからの質問と回答》

- Q1：関川はどこの市町村を流れていますか？
A1：関川とその支川は、新潟県上越市・妙高市、長野県長野市・飯山市・信濃町を流れています。
- Q2：関川とその支川で人が造った川はありますか？
A2：青田川放水路が人が造った川です。
- Q3：川にあるブロックは何のためにあるのですか？
A3：河岸のブロックは、洪水の時の速い流れが当たっても河岸が崩れないように設置しています。川を横断しているブロックは、川底が下がっていくのを防いでいます。